おかやまけんしゃかいふくし

岡山県社会福祉

2021 夏 No.645

特集 岡山県社協創立 70 周年を迎えて ― 本会職員が振り返るこの10年 ―

CONTENTS

社会福祉法人の公益的な取組レポート …… 4
県社協ニュース …… 6
赤い羽根共同募金 …… 11
「ふくし」の仕事人たち …… 12

社会福祉法人
岡山県社会福祉協議会
URL：http://www.fukushiokayama.or.jp
Facebook：https://facebook.com/fukushiokayama/

岡山県社会福祉協議会創立70周年

昭和26年12月４日　第三種郵便認可
令和３年８月15日発行（５・８・11・２月の15日発行）

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

岡山県社協創立 70 周年を迎えて
― 本会職員が振り返るこの10年 ―

岡山県社会福祉協議会は、令和 3 年 3 月 24 日に創立 70 周年を迎えました。昭和 26 年の設立以来、“県民主体・参画を基本とした福祉コミュニティづくり”の実現のため、各種関係機関と連携・協働のもと、活動・事業に取り組んできました。

特に創立 60 周年以降は、その直前に発生した東日本大震災にはじまり、熊本地震や九州北部豪雨災害、そして平成 30 年 7 月豪雨と県内外で毎年のように大きな災害が発生した 10 年でしたが、本会ではそれらの災害への支援はもとより、県社協経営・活動計画を策定し、地域公益活動の推進支援や制度の狭間の問題解決ができる人材育成、福祉人材の確保支援等を進めてきたところです。

本会では現在、この 10 年間の活動・事業をまとめた創立 70 周年記念小史を作成中ですが、本号では小史ではお伝えできない事業の裏話（？）や想いを、本会のこれからを担う職員にこの 10 年間を振り返ってもらいながらお伝えしたいと思います。

総務企画部

主査　米田宣和

- 入職年　平成 16 年
- 好きな言葉
  個々の生活課題から
  地域の福祉課題へ

私が入職した年は県南部で台風16号による高潮の浸水被害や、新潟県中越地震などが発生し、各地へ派遣いただいたことを覚えています。災害ボランティアセンターへ行くのは初めてで、右も左も分からないままただ先輩の動きを見ながら、被災された方々が元の生活に戻るために何をすべきか自問自答しながらの毎日でした。

そこでは、住民のニーズを把握し、様々な機関や団体と連携して課題解決に取り組む社協の基本的な姿を見ました。当時担当した小地域福祉活動では、ふれあいのまちづくり推進事業を通して、住民主体の活動にどうつなげていくか、時には社協は裏方となって支援していました。

この10年間にボランティア・NPO団体の活動支援に携わる機会があり、課題に対する対応の速さや、個々の支援力の高さに驚きました。地域福祉活動を実践する様々な団体が現れる中で、社協の固有性をどう打ち出していくか、これからは裏方ではなく組織性を活かしながら前面に出ていく時代なのかもしれません。

現在、コロナ禍の事業活動など新たな課題に直面しています。私はこれまで様々な分野の方々に出会い、学んだことを糧として、ともに課題解決できる福祉の仕事人を目指します。

地域福祉部
【くらし復興サポートセンター】

主査　西原俊明

- 入職年　平成 14 年
- 最近の日課
  子どもがつかまえてくる
  生き物のえさやり

ここ10年、毎年のように、全国各地で人々のくらしを脅かす自然災害が発生しています。これまでの被災地支援の関わりの中で、被災者宅を訪問した際に、発災当時のこと、ここでこのまま住み続けられるのか、今後の生活への不安など涙ながらにお話しされ、ただただ聴くことしかできなかったことを思い出します。「自分の大事なものが流され、何とか探したい」「先祖代々守ってきた土地や家を自分の代で手放したくない」「話を聴いてくれるだけでほっとした」など被災者の切なる思いを聴き、できる限り、その方の思いを受け止め、協力いただける方にお伝えするよう心がけてきました。支援者や地域の方々の継続的な関わりによって少しずつ前向きになられている姿に改めて人と人との関わりの大切さを再確認しました。

ひとつとして同じ災害はなく、人それぞれ置かれている環境も違います。もちろん私たちにできることにも限界があります。被災者ひとりひとりの気持ちに寄り添いながら、明日の一歩が踏み出せるよう、普段からそれぞれができることを共有し、互いに協力や補い合える関係を地域や支援関係者間で作っていくことが大事だと実感しています。

地域福祉部
【経営支援班】
副部長　山下泰三

●入職年　平成５年
●好きな言葉
笑う門には福来たる

東日本大震災での多賀城市における支援は、被災から一週間後の現地にて無我夢中で動いたこと、また、平成30年7月豪雨災害では、高梁市での支援活動や生活福祉資金特例貸付の対応に関わったことは、それぞれでの出会いも含めて記憶に強く残っています。

地域生活定着支援センター事業では、矯正施設での面会から、出所時の迎え、生活保護申請の同行や、就職のための履歴書を一緒に考えたり、地域での再出発に向けて直接的な支援に携わったことも印象深いです。

現在は、社会福祉法人や福祉施設で働く職員と様々な取組を通じて仕事をしています。福祉の仕事の魅力を発信する場面で、保育士養成校での説明を終えた保育士の元へ1人の学生が近寄ってきました。学生は、その保育士が10数年前に受け持っていたクラスの園児でした。

福祉の現場で働く職員が、この仕事を「うれしい、たのしい、だいすき！」と感じられ、今よりも笑顔が増え、いきいきとやりがいを持って働き続けられる職場環境づくりを進めることで、「将来的な福祉人材の確保」に繋がります。今後も「福祉サービスの質の向上」など、大切なことを忘れることなく、励んでいきます。

福祉支援部
【生活支援班】
主任　小武守敬子

●入職年　平成17年
●好きな言葉
逃げるが勝ち

10年前、私は入職してまだ数年の若手職員でした。今も気持ちは若手ですが、あっという間に時が過ぎてしまいました。

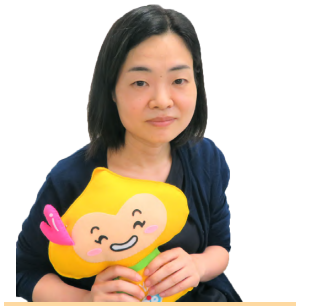
私が現在、担当している地域生活定着支援センターも、ちょうど10年前の平成23年からスタートしました。刑務所にいる高齢者や障害者の方を支援する業務です。正直、「刑務所に行くような人を支援する必要があるのか」「怖い」という気持ちが最初はありました。

Aさんという65歳の女性に出会いました。若い頃は看護師で、結婚退職後は専業主婦で3人の子どもを育てましたが、40代の時に脳出血で、高次脳機能障害の状態になったようでした。行動が自分で制御できなくなり、夫からは離婚され親権も持てず、仕事も上手くいかず、困窮の末に万引きを繰り返すようになったようです。

今まで、自分は絶対刑務所に行くようなことはない、と思っていましたが、『私もAさんになるかもしれない』と思ったとき、まだまだ福祉が行き届いていないことを痛感しました。

支援をするにあたり、相手に振り回されることも多いですが、社会から見捨てられて刑務所に行く人が1人でも減るよう、これからもがんばりたいと思います。

福祉支援部
【福祉人材支援班】
主査　三宅圭子



●入職年　平成12年
●好きな言葉　上善如水

昨年から流行った新型コロナウイルス感染症の中での研修実施のあり方が一番印象に残っています。

県社協が実施する研修をどうするのか、中止するのか、それとも実施するならば、福祉現場の最前線で働かれている受講者の方や講師の方の安全をどのように確保して研修を実施するのかを考えながら、試行錯誤した一年でした。

どんな方法であれば安全なのか、何が正解なのかわからない中、研修に関わる講師の方や関係者の方々からのご意見やご助言をいただきながら、なんとか研修を無事に終了することはできましたが、研修実施に関して反省点も多くどうすればよかったかなど、今でも考えています。

不透明な状況でしたが、講師や関係者の方と一緒になって対応させていただいた過程は、自分にとって多くのことを学ぶ機会となり貴重な体験となっています。

まだ新型コロナウイルス感染症は収まっていませんが、この体験を踏まえ、今後も周りの職員や、関係する方々と連携することの重要性を忘れず対応していきたいと思います。

社会福祉法人の公益的な取組レポート

～地域共生社会の実現に向けて！～

誰もが参加できる地区を超えた居場所づくりへ

地域食堂「Dining Minna（ダイニング みんな）」

地域食堂 Dining Minna（ダイニング みんな）

地域食堂「Dining Minna（ダイニング みんな）」（以下、地域食堂）は、立ち上げから運営まで、地域の有志の方々が主体的に取り組まれており、コロナ禍にもかかわらず、令和2年12月に総社市内の西部地域にオープンしました。

今回は、地域食堂の立ち上げからメンバーの一員として、地域の方々と活動している、社会福祉法人 雪舟福祉会事務長の守安 伸聡さんに地域食堂の開催時の様子や、取り組みの中で大切にされていること、これまでなかった地区を超えたつながりづくりについてお話を伺いました。

今回お話を伺った
社会福祉法人 雪舟福祉会
事務長の守安さん

取り組みを始めたきっかけ

地域食堂をオープンするきっかけとなったのは、「総社市西部地域にこども食堂を作りたい！」という地域の方たちの声からでした。

オープンするまでには、「こども食堂を考える会」を設立し、法人施設の一部を地域の人に開放して、約半年間、地域の方や関係機関の方と話し合いを続けてきました。その後、「ふくしネットそうじゃ（総社市社会福祉法人社会貢献活動推進協議会）」や、総社市社会福祉協議会のバックアップもあり、〝子どもからご高齢の方までみんなが参加できる居場所〟を目指して、地域食堂として活動を展開してきました。

朝早くからお弁当を作っている様子

毎月第3日曜日に西部地域5地区（神在・秦・久代・山田・新本）に住む地域の方で活動しています。

コロナ禍でもできること

現在は、新型コロナウイルスの感染症対策を取りながら、テイクアウトでお弁当を販売しています。

今年1月にはじめて開催した時には、わずか1時間足らずで、準備をしていた60食は完売し、お弁当を買いに来られた地域の皆さんからは、多くの笑顔が見られました。

4月に開催した時には、5月のこどもの日にちなんで「みょうが寿司」をお弁当にして販売しました。コロナ禍で生活に困っている方や、人と会う機会が少なくなってしまった方など、いろんな方に季節や文化を楽しみながらお弁当を食べてほしいという想いもあり、地域の方の知恵や季節折々の伝統行事を意識して、メニューを地域の皆さんが一緒に考えて作っています。

みょうが寿司を取り入れたお弁当

笑顔あふれる地域食堂開催時の様子

いろいろな人がつながる場所

地域食堂では、西部地域に住む、子どもからご高齢の方まで、年齢を問わず、幅広い世代の方が参加して下さっています。

今までは、西部地域の方が、地区を超えて一緒に活動するということは、あまりなかったそうですが、この地域食堂をきっかけに交流することができています。また、「人が関わり、ふれあうことができる場」というコミュニティの一つとして、「ここへ来れば誰かいる」という安心感を持っていただけるよう心掛けています。

今後の展望について

コロナ感染状況が落ち着いてきたら、季節ごとにイベントを開催し、多くの人が一緒に食事をして交流できる場にしていきたいと考えています。

また今後は、地域食堂を西部地域の各地区単位でも開催していくことを話し合っています。総社市西部地域に「誰もが気軽に集まれる居場所」をさらに拡大していき、公益性の高い組織として広く地域に根ざした活動を行っていきたいと思います。

地域食堂「Dining Minna」を
いきいきと運営されている皆さん

◆お問い合わせ先

社会福祉法人 雪舟福祉会
シルバーセンターセレーノ総社
：岡山県総社市久代5127
☎：0866-96-0700

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和３年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

https://www.fukushihoken.co.jp
ふくしの保険 検索

商品パンフレットはコチラ
（ふくしの保険ホームページ）

保険金額・年間保険料（１名あたり）

保険金の種類 ＼ プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金 入院中の手術	65,000円	
	手術保険金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	
年間保険料		350円	500円

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞
基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。
◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。
※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険
（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償
（傷害保険）

福祉サービス総合補償
（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667　FAX：03（3581）4763
受付時間：平日の 9:30～17:30（12/29～1/3 を除きます。）

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJ20-12302　2020.12.28 作成〉

岡山県災害派遣福祉チーム（DWAT）について

～ WHAT IS DWAT？（災害派遣福祉チームって何？）～

災害派遣福祉チーム（DWAT）とは何か？

DWATは、Disaster Welfare Assistance Teamの略称で、災害派遣福祉チームと呼ばれています。

社会福祉施設や病院等で働く、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・保育士等の資格を持つ、福祉の専門職で構成されるチームです。

災害時には、県行政を通じた被災地行政からの要請により、一般避難所等に派遣され、避難されている方に寄り添い、福祉の専門職として生活を支える活動を行い、二次被害の防止に努めます。

災害時のために、平時から地域や行政機関・他団体との関係性を大切にし、より災害に強い地域をつくる活動を行っています。

活動時に身に付けるビブス

DWATの災害時の活動事例

災害派遣福祉チーム（DWAT）は、東日本大震災以降、一般避難所における福祉的支援の必要性から、一部の府県により組成され、平成28年の熊本地震において、初めて派遣、活動しました。

平成30年7月豪雨災害時には、岡山県においても他府県の応援を受けながら、倉敷市真備町において岡山のチームが初めて活動しました。

平成30年7月豪雨災害時の活動の様子

現在、全国の都道府県でチームの組成が進められていることから、ここ数年の台風・大雨等による災害では、被災した県の災害派遣福祉チーム（DWAT）が活動する事例が増えています。

岡山県DWATの組成状況

岡山県では、平成29年に初めてチーム員を募集し、同年に登録したチーム員を対象に研修会を開催しました。平成30年6月にはチーム員が所属している福祉施設・専

岡山県 DWAT 参画団体（令和３年７月時点）

区 分	団体名	区 分	団体名
施設種別協議会	岡山県社会福祉法人経営者協議会	専門職能団体	（公社）岡山県社会福祉士会
	岡山県老人福祉施設協議会		（一社）岡山県介護福祉士会
	岡山県保育協議会		岡山県精神保健福祉士協会
	岡山県障害福祉施設等協議会		（一社）岡山県介護支援専門員協会
	岡山県保護施設協議会		（一社）岡山県医療ソーシャルワーカー協会
	岡山県児童養護施設等協議会	事務局	（福）岡山県社会福祉協議会

門職で構成する団体（岡山県DWAT参画団体）との会議を開きました。

同時に県行政とも話し合いを進めており、平成30年の活動の後ではありますが、派遣に係る協定を、県行政とDWAT事務局（岡山県社会福祉協議会）とで令和元年7月に締結をしました。

岡山県DWATの活動内容例

災害時には様々な活動を必要とする可能性がありますが、災害時・平時の活動例として、左記のことが考えられます。

災害時の活動例

❶保健師等と避難所内を回り、避難者の方の状況を把握します。
❷把握した状況から支援の必要の有無と支援方法を考えます。
❸支援が必要な要配慮者である場合は地元の社会福祉施設等の支援先へ繋ぎます。
❹医療や保健師チーム等の関係者との連携のため情報共有をします。
❺避難者の方々からの相談に応じます。
❻介護等の必要な方に対して応急的に支援します。
❼福祉の視点から避難所内の環境の整備をします。

平時の活動例

❶チーム員の質を向上するために研修や訓練を行います。
❷市町村行政や関係機関、医療・保健分野の方々と顔の見える関係づくりをします。
❸市町村行政や地域の自治会が実施する防災訓練に参加します。
❹地域のイベント等でDWATについて広報します。

岡山県DWATの平時の活動

岡山県では、現在、災害時に備えて平時の活動を進めています。

活動例として、災害時にDWATの派遣要請を行う市町村行政、連携をしていく関係機関・団体、地域住民の方にDWATを知っていただくための活動を行っています。

チーム員が自らDWATについて説明をする機会もあります。自分たちの活動を自ら伝えることで、災害時の活動内容を再確認し、災害時に備えるという目的もあります。

地域の方とDWATについて話し合い

DWATは、福祉専門職が行う災害時の福祉支援の一部分ではありますが、チームとして十分な役割を担い、支援ができるよう推進していきます。

2022年度生（2022年4月1日学習開始）10月1日より受付開始！

社会福祉学科 通信課程
西日本で唯一※の一般養成課程（1年コース）
※公益財団法人社会福祉振興・試験センター調べ
一般養成課程（1年6ヶ月コース） 一般養成課程（1年コース） 短期養成課程（9ヶ月コース）

精神保健福祉学科 通信課程
一般養成課程（1年7ヶ月コース） 短期養成課程（9ヶ月コース）

進学説明会のご案内
8月29日（日） ■時間／10:30~13:30 ■場所／岡山市北区駅前1丁目8-18イコットニコット5F TAC岡山校（501教室）
社会福祉士や精神保健福祉士に興味があり通信制で資格取得を考えている方へ、学習内容（レポート・スクーリング・実習）等について説明や個別相談を行います。事前予約は必要ありません。上記以外の日程については、お問い合わせください。 ※実習該当者は、出願前に必ず進学相談会にご参加ください。

教育訓練給付制度対象講座
※「社会福祉学科 一般養成課程（1年コース）」は教育訓練給付制度の対象外です。
詳しくはQRコードからHPをごらんください。
好きを極めてプロになる
学校法人 穴吹学園 専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ
〒760-0021 香川県高松市西の丸町14-10
TEL.087-823-5566
※スクーリングはJR高松駅すぐ近くの当校校舎で行います。

事業報告・決算報告

第7次岡山県社協経営・活動計画（平成30年度からの5か年計画）の3年次となる令和2年度は中間評価を実施するとともに、「県民主体および県民参画を基本とした福祉コミュニティづくり」を基本理念とし、経営方針の達成に向けて、事業を推進した。

【4つの経営方針及び推進目標達成率】 ＜全体平均 87（88）％＞

経営方針① **【組織】 組織の実行力**	法人経営・運営組織の機能強化	89%
経営方針② **【活動】 地域の福祉力**	多様な主体の参画による福祉のまちづくりの基盤整備 地域を基盤とした総合相談・生活支援体制の整備・促進 社会福祉法人等における福祉サービスの質の向上	78% (84)
経営方針③ **【人事・労務】 人材の創造力**	人事・労務管理体制の充実強化	90%
経営方針④ **【財務】 経営の自立力**	財務基盤及び管理体制の整備	90%

※上記事業達成率の（　）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活福祉資金特例貸付支援業務の優先対応により中止した事業、または三密回避により中止した研修等を除いて算出した達成率である。

経営方針❶ 組織「組織の実行力」

〔主な成果〕

◆新型コロナウイルス感染症の影響により、評議員会や理事会は決議の省略やテレビ会議とのハイブリッド方式など開催形態を工夫し、出席率の向上に努めた。

◆経営企画委員会において、第7次経営・活動計画の中間評価や計画を見直すとともに、事業の新規受託などの協議を行った。

◆特定社会福祉法人として、会計監査人による監査や内部監査の実施、ガバナンス強化を図った。

◆第2次広報活動強化方針に基づき、ホームページ等による情報発信やイメージキャラクターの70周年ロゴを作成するなど、広報・情報活動の強化に努めた。

◆熊本県を中心に発生した令和2年7月豪雨に対し、中国ブロック災害時相互支援協定に基づき、コロナ禍での感染防止に留意しながら人吉市災害ボランティアセンターへ職員を派遣した。

経営方針❷ 活動「地域の福祉力」

〔主な成果〕

◆小地域福祉活動の拠点や仕組みづくりに向けて、生活支援コーディネーターの情報交換会やセミナー等を開催した。

◆地域公益活動推進体制づくりにおいては、新たに3町でネットワークを組織化し、本計画の目標であった15圏域での組織化を達成することが出来た。

◆市町村社協職員を対象とした地域福祉実践研修等を開催し、多機関協働による制度の狭間の問題解決に向けた人材育成に取り組んだ。

◆災害派遣福祉チームの派遣や運営に向けて、県内に5つの拠点を設置するとともに、コロナ禍における災害ボランティアセンター設置訓練を行うなど県内社協の体制整備を促進した。

◆日常生活自立支援事業の専門員等の資質向上に取り組むとともに、社協法人後見連絡会では、拡大会議を開催し、成年後見制度利用促進に係る中核機関の設置に向けて意見交換した。

◆新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯を対象とした特例貸付に対応した。

◆平成30年7月豪雨災害による被災者の生活支援に努めた。

◆地域生活定着促進事業において、支援対象者の自立生活に向けて新たに地域ネットワークの強化に取り組んだ。

◆社会福祉法人等への経営支援として、情報提供や経営相談、福利厚生制度等の支援を行った。

◆「福祉紹介キャンペーン」等に取り組み、福祉の仕事の理解促進や人材確保の支援に努めた。

◆感染防止策を講じた各種自主研修や、オンラインによるキャリアパスを活かした人材マネジメント研修を実施し、キャリアパスの仕組み作りや社会福祉法人等における人材育成の体制整備の支援に取り組んだ。

経営方針❸ 人事・労務「人材の創造力」

〔主な成果〕

◆研修計画を策定し、職員の資質向上に努めた。

◆コロナ禍における感染防止対策や雇用環境を整備し、働きがいのある職場づくりに努めた。

経営方針❹ 財務「経営の自立力」

〔主な成果〕

◆法人経営の安定化の為、自主財源の増強に努めるとともに、民間財源の有効活用を行った。

◆計算書類等をホームページ上で公表するなど、より一層透明性の高い財務管理に努めた。

※強調箇所は、重点到達目標

法人資金収支計算書

（自）令和２年４月１日　（至）令和３年３月31日

（単位：円）

会計並びに拠点区分名	収入決算額	支出決算額
一般会計	4,009,442,973	3,243,339,108
社会福祉事業区分	473,749,938	428,702,208
公益事業区分	3,523,929,766	2,802,732,751
収益事業区分	11,763,269	11,904,149
生活福祉資金会計	19,543,383,848	11,682,444,620
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	103,804,185	20,207,029
生活福祉資金貸付事務費会計	287,588,221	242,582,425
臨時特例つなぎ資金会計	945,826	591,373

※収入決算額には、前期末支払資金残高を含む。

法人事業活動計算書

（自）令和２年４月１日　（至）令和３年３月31日

（単位：円）

会計並びに拠点区分名	収益決算額	費用決算額
一般会計	840,991,357	708,692,101
社会福祉事業拠点区分	473,238,760	434,629,706
公益事業	355,724,520	262,296,768
収益事業	12,028,077	11,765,627
生活福祉資金会計	16,540,546,094	16,754,708,866
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	46,284,374	46,284,374
生活福祉資金貸付事務費会計	297,613,235	256,535,817
臨時特例つなぎ資金会計	△ 52,995,934	1,081,373

※収益決算額には、前期繰越活動増減差額、国庫補助金等特別積立金取崩額、その他の積立金取崩額を含み、費用決算額には、その他の積立金積立額を含む。

一般会計貸借対照表

令和３年３月31日現在

（単位：円）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	793,028,410	流動負債	44,455,599
固定資産	17,080,148,467	固定負債	14,899,688,944
基本財産	30,000,000	負債の部合計	14,944,144,543
その他の固定資産	17,050,148,467	純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	1,097,773,417
		その他の積立金	1,698,959,661
		次期繰越活動増減差額 （うち当期活動増減差額）	132,299,256 △ 11,832,955
		純資産の部合計	2,929,032,334
資産の部合計	17,873,176,877	負債及び純資産の部合計	17,873,176,877

※流動資産には、商品・製品額を含み、流動負債には、賞与引当金を含む。

生活福祉資金４会計貸借対照表

令和３年３月31日現在

（単位：円）

勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	8,004,492,177	流動負債	14,619,945
固定資産	12,275,286,072	固定負債	25,496,508
その他の固定資産	12,275,286,072	負債の部合計	40,116,453
		純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	20,109,355,600
		その他の積立金	357,468,857
		次期繰越活動増減差額 （うち当期活動増減差額）	△ 227,162,661 △ 245,508,942
		純資産の部合計	20,239,661,796
資産の部合計	20,279,778,249	負債及び純資産の部合計	20,279,778,249

閲覧可能　事業報告書、決算書は、本会ホームページ（http://www.fukushiokayama.or.jp/）または本会事務所において閲覧することができます。
【お問い合わせ先】　岡山県社会福祉協議会　総務企画部（TEL.086-226-2822）

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください！

労務管理で困っている
・就業規則の見直し　・人材育成　・人材定着
・助成金の活用　・セミナー講師　・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人　☎ 0863-81-5634
特定社会保険労務士　佐藤起世子
〒706-0024　玉野市御崎 2-3-13
あい社会保険労務士法人　検索
http://aisr.or.jp/　メルマガ募集中！
メルマガはHPからお申し込みください。

どこよりも解りやすい 指導監査の個別指導！
経営幹部の方 / 経理・事務スタッフの方
Q 役員選任には監事の同意が必要？
Q 監事は評議員会に出席する義務があるの？
Q 賞与引当金は必ずしなきゃだめなの？
悩み・疑問を一斉解決！
急な指導監査でも…
・慌てない
・困らない
・揉めない

SCB社福サポート担当 いしはら

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
公認会計士・税理士 宮崎会計事務所
☎ 0120-747-824
受付時間 9:00～17:30（平日）
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10
[HP]http://www.ssc-scb.com

◈ 岡山県社会福祉協議会　評議員・役員就任のお知らせ

令和3年4月30日に開催された令和3年度第1回評議員選任・解任委員会において、新評議員が選任されました。また、同年6月25日に開催された令和3年度定時評議員会において新役員が選任され、同日開催の理事会において正副会長等が選任されましたので、お知らせいたします。

（定数）19名以上23名以内
（任期）令和7年度開催の定時評議員会の終結の時まで（概ね4年）

役名	氏名	所属
評議員	浜口　誠	（社福）玉野市社会福祉協議会
	二階堂　舜司	（社福）笠岡市社会福祉協議会
	逸見　孝明	（社福）新見市社会福祉協議会
	山形　明	（社福）備前市社会福祉協議会
	松浦　躬行	（社福）真庭市社会福祉協議会
	頼正　康生	（社福）和気町社会福祉協議会
	寺山　節子	（社福）早島町社会福祉協議会
	片山　篤	（社福）久米南町社会福祉協議会
	赤堀　忠利	（社福）美咲町社会福祉協議会
	片岡　公子	（NPO）岡山県精神障害者家族会連合会
	岡野　茂一	（一社）岡山県手をつなぐ育成会
	安達　悦子	（一社）岡山県介護福祉士会
	安藤　光徳	（公社）認知症の人と家族の会岡山県支部
	宮田　明美	（公社）岡山県看護協会
	上原　毅	日本赤十字社岡山県支部
	佐藤　千津子	岡山県愛育委員連合会
	中村　真教	（公社）岡山県社会福祉士会
	岸本　信義	（社福）浦安荘
	青木　佳之	（医）青木内科小児科医院
	小出　叡	（社福）豊野助正会
	江良　克彦	倉敷市民生委員児童委員協議会
	西﨑　京子	備前市民生委員児童委員協議会
	高橋　昌文	笠岡市民生委員児童委員協議会

（定数）理事：14名以上18名以内・監事：2名
（任期）令和5年度開催の定時評議員会の終結の時まで（概ね2年）

役名	氏名	所属
会長	足羽　憲治	学識経験者
副会長	内田　通子	（社福）岡山市社会福祉協議会
	財前　民男	（社福）クムレ
	髙山　科子	岡山県民生委員児童委員協議会
常務理事	小川　敏朗	学識経験者
理事	中桐　泰	（社福）倉敷市社会福祉協議会
	小山　了	（社福）津山市社会福祉協議会
	藤本　道生	（社福）岡山県共同募金会
	藤田　勉	（公財）岡山県身体障害者福祉連合会
	吉田　建太郎	（公財）岡山県老人クラブ連合会
	大橋　宗志	（社福）山陽新聞社会事業団
	松山　正春	（公社）岡山県医師会
	石原　達也	（NPO）岡山NPOセンター
	中川　初美	（一社）岡山県婦人協議会
	服部　剛司	（社福）吉備のくに福祉会
	赤畠　耕一路	（社福）誠和
	間庭　浩二	（社福）千寿福祉会　吉備高原清和荘
	西嶋　康浩	岡山県保健福祉部長
監事	平松　卓雄	前岡山県社会福祉協議会　常務理事（社会福祉事業についての識見者）
	児島　正典	公認会計士（財務管理についての識見者）

≪敬称略・令和3年6月25日現在≫

◈ 令和2年度福祉サービスに関する苦情・相談状況

■岡山県運営適正化委員会

岡山県運営適正化委員会では、福祉サービス利用者等からの苦情・相談を受け付け、解決に向けて支援を行っています。

令和2年度に本会で受け付けた福祉サービスに関する苦情件数は29件（元年度33件）、苦情に満たない相談件数は27件（元年度34件）で、前年と比較すると、減少しています。

苦情受付のサービス種別は、障害者関係が15件と約半数を占めていました。続いて、高齢関係8件、児童関係4件、その他2件でした。

苦情内容としては、職員の接遇やサービスの質や量に関するものが半数以上となっていますが、利用料や損害弁償に関する相談も増えつつあるのが近年の傾向です。

◆苦情の申出・ご相談は
岡山県運営適正化委員会
☎086-226-9400

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●
広告美術　企画ー製作
美術工房 シシド
公益社団法人　全日本広告連盟加盟　岡山広告協会会員
TEL 086-271-4410(代)
FAX 086-271-4412
〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

お車の共済のことなら！
西日本自動車共済協同組合
お見積り、事故のご相談、すべて無料！
お気軽にご連絡下さい。

岡山県支部
〒700-0927 岡山市北区西古松 237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355　FAX086-246-3375
【本部】福岡市博多区東比恵２－１５－２５
TEL：092-441-5901
NJ730.2103.0213.999999

赤い羽根共同募金

岡山県
共同募金会

ありがとうメッセージ

共同募金の助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」をご紹介します。

特定非営利活動法人志塾フリースクール岡山

今回助成金をいただき、フリースクール体験活動及び学習支援活動を行いました。
コロナ禍の中、スクールにおいても、経済的・物理的な理由で皆“何か”をすることが困難な中、大変貴重なきっかけを与えていただけた気がします。大変感謝しています。改めて、本当にありがとうございました。

社会福祉法人さつき会 福岡保育園

この度助成金をいただき、居室及び廊下の床の修繕工事を行いました。
子どもたちの安全が確保され、部屋や廊下が以前よりも明るくなりました。明るくなった室内で過ごすことは子どもたちに良い影響を与え、より良い成長につながると思います。ありがとうございました。

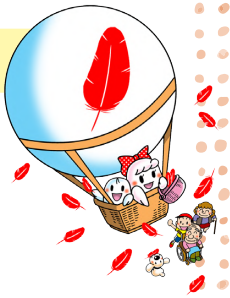
特定非営利活動法人エブリィハート

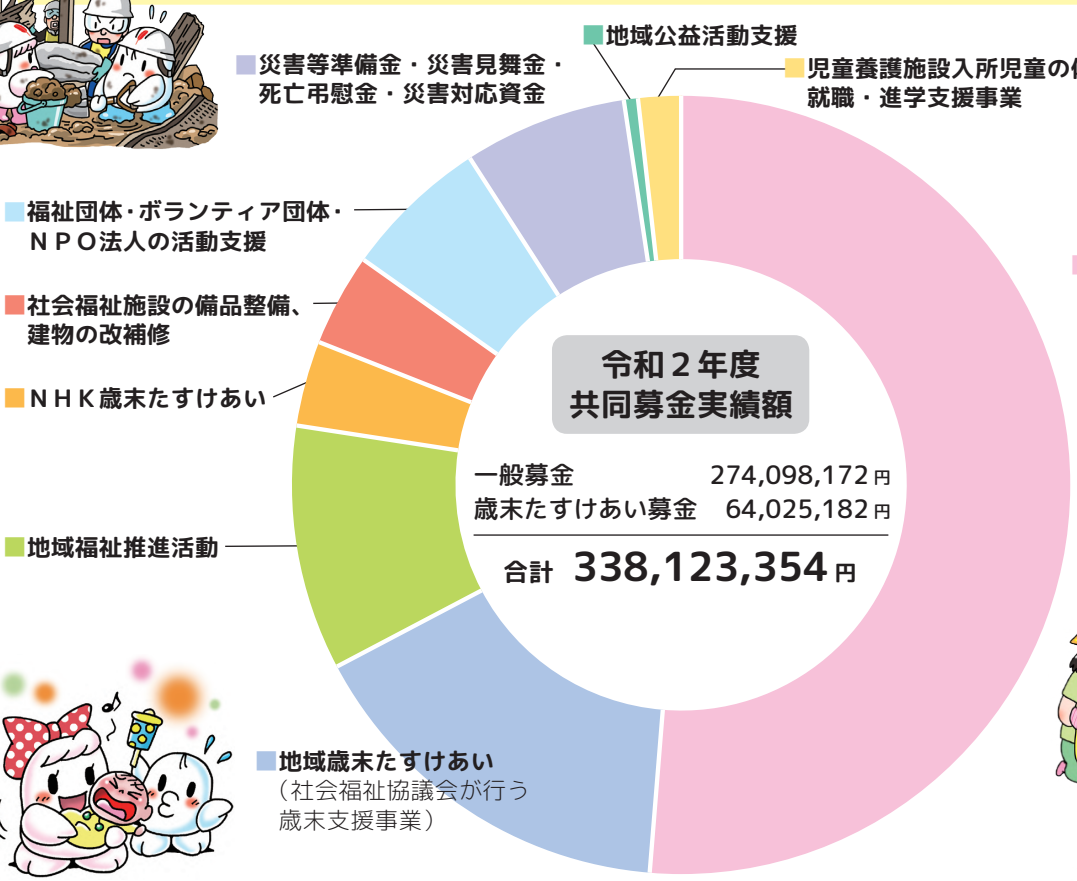
この度、赤い羽根共同募金の助成金で、子ども食堂「より道キッチン」で使うオーブンレンジを購入いたしました。
購入したレンジはこれまで使用してきたものと違い、オーブンとしても使用でき、料理の幅が格段に上がりました。おかげさまで子どもたちに家庭的であたたかな食事を提供することができます。本当にありがとうございました。

社会福祉法人こだま園 こだま園東江原ワーク

この度いただいた助成金で、利用者送迎などに利用する車両を購入させていただきました。
以前の車より多くの利用者さんが乗れるようになった為、移動等が円滑に回るようになり、とても助かっています。送迎やドライブ等、利用者さんに喜んでいただける支援に活用していきたいと思います。ありがとうございました。

令和2年度共同募金結果報告





岡山県社会福祉

発行：岡山市北区南方2丁目13-1
社会福祉法人岡山県社会福祉協議会
☎086(226)2822

福祉専門官（司法福祉）

チーム少年院で重層的な支援を。「矯正教育」と「福祉」のコラボレーションを目指して。

vol.54『ふくし』の仕事人たち

法務省　岡山少年院
福祉専門官
小池　洋介 さん

「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

小学生の頃、近所に暮らす1つ下の男の子と遊ぶようになりました。私は友だちが少なかったので、友達ができたことがとても嬉しかったのですが、その子には軽度知的障害があり、普段は養護学校へ学校宿舎から通っていたため、長期休暇の時だけ、親元に戻ってきていました。また、その子と遊んでいるとなぜか同級生等から、揶揄されたり、石を投げられたりしました。その時から、揶揄されることへの疑問と同時に、なぜこの子はここで暮らすことができないのだろう、という疑問を感じていました。その時抱いた、障害に対する「疑問」や触れ合うことへの「喜び」が、福祉を志すきっかけとなりました。これまでソーシャルワーカーとして障害福祉分野や児童家庭福祉分野、学校福祉分野等で支援をしてきましたが、あの時感じた疑問や喜びが私の活動の根幹となっていると感じます。

現在の仕事の業務内容は？

少年が社会復帰する上で必要な、少年自身への支援と、保護者や関係機関等の少年を取り巻く周辺環境への働きかけ（帰住調整）を主に行っています。少年院での福祉専門官との関わりが、福祉との初めての接点となる少年も多くいます。その少年にとって少年院での経験が、相談の成功体験として残り、今後地域で生活を送る中で、困ったときには福祉を含め周りの人に頼ることができるように意識しながら支援を行っています。

今後の課題と抱負は？

少年院自体の取組や中間支援の重要性について、地域へ見える化を進めていく必要があると感じています。今後はもっと積極的に地域の福祉関係者等へ伝えていきたいと考えています。

また、全国的に少年院の中のソーシャルワーカーは、まだマイノリティな存在であるので、矯正教育と福祉の共生は進んでいないところがあります。そのため、少年院のソーシャルワーカー同士、横でつながり、互いにスーパービジョンを行いながら、よりよい支援ができればと思っています。

そして、矯正教育と福祉のコラボレーションを目指して、チーム少年院としての支援を実践していきたいです。

【施設名】岡山少年院
【住　所】岡山市南区箕島2497
【TEL】086－282－1128

印刷：株式会社セイキ　定価100円

本機関紙の講読料は、岡山県社会福祉協議会の年会費に含まれています。

機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■郵　送：〒700-0807　岡山市北区南方2丁目13-1　きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会　広報班

■FAX：086－227－3566　まで

なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。